

2011.3.11

東日本大震災の記録



平成 23 年 11 月

鹿 嶋 市

目 次

巻頭言

はじめに ～本市における被災概況～	1
1. 被害のまとめ	2
2. 経緯	4
3. 被害状況と対策本部の取組み等 [写真] (P7～P66)	7
4. 被害状況・対応の詳細	67
① 鹿嶋市役所	67
② 常陸河川国道事務所	75
③ 霞ヶ浦河川事務所	75
④ 潮来土木事務所	75
⑤ 鹿嶋警察署	75
⑥ エフエムかしま	75
⑦ 鹿嶋市商工会	76
⑧ 住友金属工業	76
⑨ 鹿島共同火力	77
⑩ 鹿島臨海鉄道	77
⑪ 鹿島神宮駅	77
⑫ 鹿島神宮	78
⑬ 鹿嶋市建設業協同組合	78
資料編 (P81～P140)	
① 被害の影響が大きいエリア	82
② 震災並びに原発事故等に関する要望等一覧	87
③ 東日本大震災にかかる被災者支援制度等一覧	89
④ 災害ボランティア登録者分布人数	97
⑤ 支援物提供者一覧表	98
⑥ 寄付金一覧表	101
⑦ 義援金一覧表	102
⑧ 広報かしま (災害特別号)	108
⑨ 地震情報の記録	124
⑩ 災害対策本部会議の状況	135
⑪ 編集協力機関	140

巻頭言

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」から7箇月余りが経過しました。

改めまして、被災されました市民の皆様にご心から御見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を捧げます。

また、この度の震災に際し、県内外の企業をはじめとして、自治体、個人の皆様から支援物資や見舞金・義援金など、温かい御支援をいただきました。さらには、市民の皆様を中心としたボランティアの方々の御協力など、物心両面から励ましをいただきましたことに対しまして、心から感謝と御礼を申し上げます。

東日本大震災は、マグニチュード9.0と我が国観測史上例を見ない大地震や大津波による自然災害と、これに起因する原子力災害が加わった大規模複合災害であり、その被害は、東日本地域に甚大な影響を与えました。本市も例外ではなく、地震直後に発生した大津波により、鹿島港とその周辺地域や大野区域の沿岸部では大きな被害を受けました。特に長栖・泉川地区では、航路で波高を増した津波が岸壁を超え、コンテナや車両等を巻き込みながら集落に押寄せ、1名の方が亡くなりました。さらに、激しい揺れが継続したことで地滑りや液状化現象を誘発し、3,200棟を超える建物が全・半壊したほか、道路・鉄道・上下水道・港湾等に甚大な被害をもたらしました。

このように市は、今回の大震災でこれまでにない大きな被害を受けましたが、そのような状況の中でも、自らが被災者であるにも関わらず避難所での炊き出しや瓦礫の撤去等の清掃活動に協力を惜しまない方、さらには消防団や高校生などが被災現場で支援活動する姿などに接し、むしろこの災害で、市民間の“絆”が深く結ばれ、市民力はさらに高まったと感じています。

本市の復旧・復興に向け、全市民が共有できる「災害復旧・復興計画」を取りまとめながら、震災前よりも活力あるまちづくりに向けて、一層歩みを加速して参りますので、市民の皆様のお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成23年11月



鹿嶋市長 内田 俊郎